

令和6年度 福岡市南区主任児童委員会研修会②の報告



「不登校生について」

～ 最近の不登校生から見えてくること ～

令和7年3月13日(木) 13:30～15:00 南市民センター2階 研修室で南区主任児童委員会研修会②が行われました。前回、令和7年1月9日(木)の南区主任児童委員会研修会①に引き続き、ぼちぼちの会会長木村が講師としてお話をさせていただきました。前回は不登校の実態と、何が不登校を難しいものになっているのかの課題についてお話しさせていただきましたが、今回は子どもと大人の見方や考え方の違いを中心に、「困っている子ども」にどう対応したらよいかを具体的に話させていただきました。今回も、福岡市南区民生委員・児童委員 30名（主任児童委員25名 地区会長5名）の参加をいただきました。今後ともよろしくお願いいたします。



1 はじめに

子どもの生きている世界

学校と保護者・家庭・地域との関係 そして仮想空間（ゲームやネット）

2 社会の常識と子どもの気持ち

- ・大人の倫理観：よかれとおもったことでも子どもには・・・

3、子ども目線と大人目線の差を埋めるのに必要な対策は？

- ・子どもは単なる大人の小型ではない。
- ・親子の関わり：わかっているようでわからない子どもの気持ち
- ・一生懸命やることもほど大人や周囲の期待に応えられなくなったとき困り感を感じる

4. 学校教育の意味

- ・最終的な目的は進路保障＝自立
- ・学びの多様化学校・支援教室（自分に応じた学びの場を考える）

5. おわりに

- ・主任児童委員さんに望むこと